

※この度 2022 年 2 月 25 日付臨時株主総会決議において、第 7 期事業年度における決算修正が承認可決されましたので、下記にて修正後の決算公告をご報告致します。

第7期決算公告

(株主総会日)令和3年8月27日

(住所)東京都千代田区神田小川町一丁目1番地 山基ビル3F

(会社名)株式会社アイデミー

(代表者)石川 聡彦

貸借対照表の要旨

(令和3年5月31日現在)(単位:千円)

科目		金額
資産の部	流動資産	820,363
	固定資産	32,516
	資産合計	852,880
負債及び純資産の部	流動負債	372,960
	固定負債	0
	負債合計	372,960
	株主資本	479,600
	資本金	10,000
	資本剰余金	649,951
	資本準備金	494,211
	その他資本剰余金	155,740
	利益剰余金	△180,350
	その他利益剰余金	△180,350
	(うち当期純損失)	(178,229)
	新株予約権	320
	純資産合計	479,920
	負債・純資産合計	852,880

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

(a) 有形固定資産

建物および平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備については定額法、その他の有形固定資産については定率法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

(a) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(a) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(b) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

なお、オペレーティング・リース取引の解約不能期間に係る未経過リース料に重要性はありません。